

子育て世代の働き方や生活に関するアンケート

令和6年9月実施

那珂市 企画部政策企画課

■ 調査概要

■ 調査目的：

・「第2期那珂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し時期にあたり、結婚・出産・子育てに対する意識や那珂市での生活のしやすさへの実感を調査するため。

■ 調査対象： 中学三年生までのお子さんを持つ那珂市在住の子育て世帯

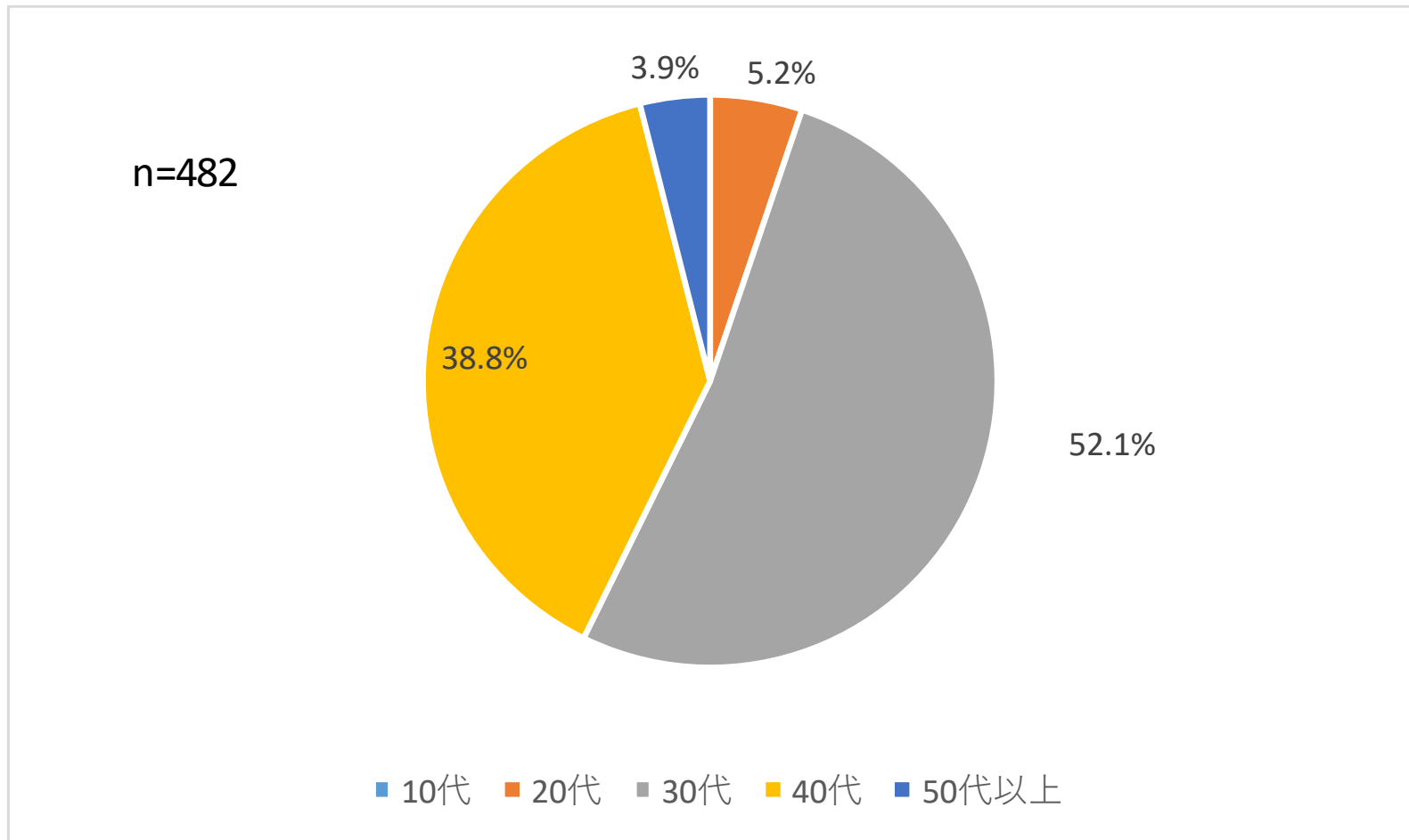
■ 回答者数：483人

■ 調査期間：令和6年（2024年）9月6日～9月20日

■ 調査方法：インターネットからの回答

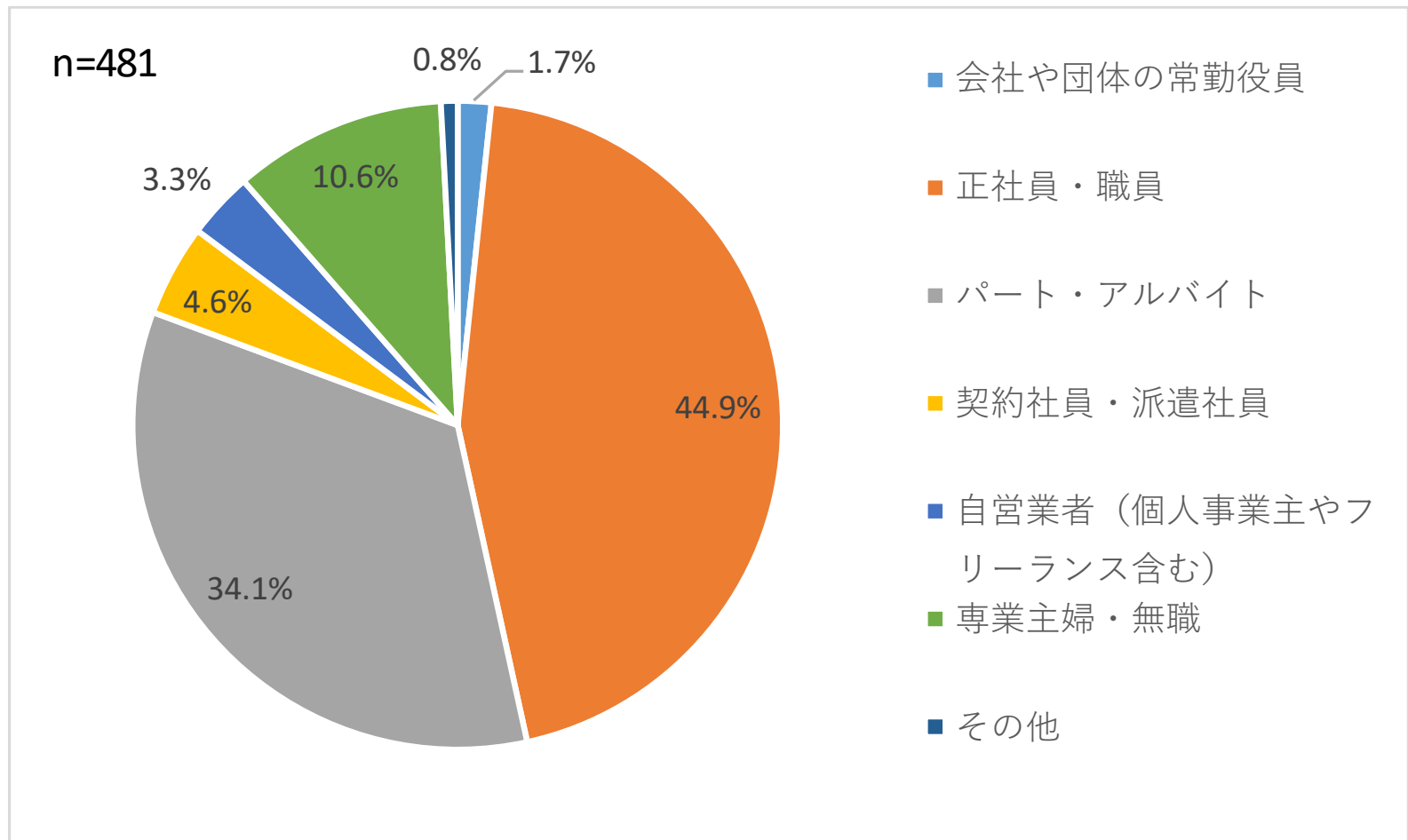
1. 回答者属性①：年齢

- 30代が約5割、40代が約4割



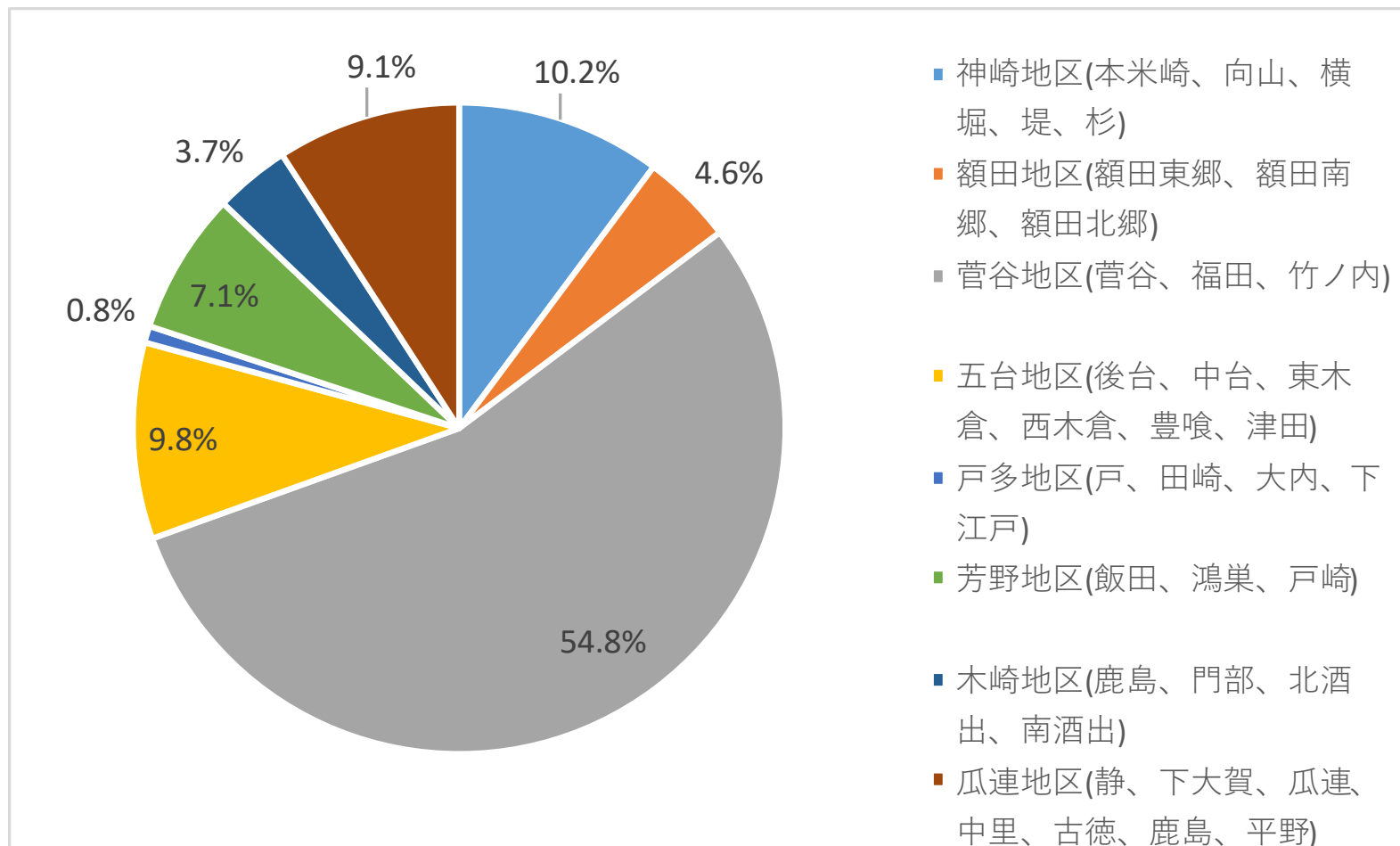
1. 回答者属性③：職業

- 正社員・職員が4割超、パート・アルバイトが3割超



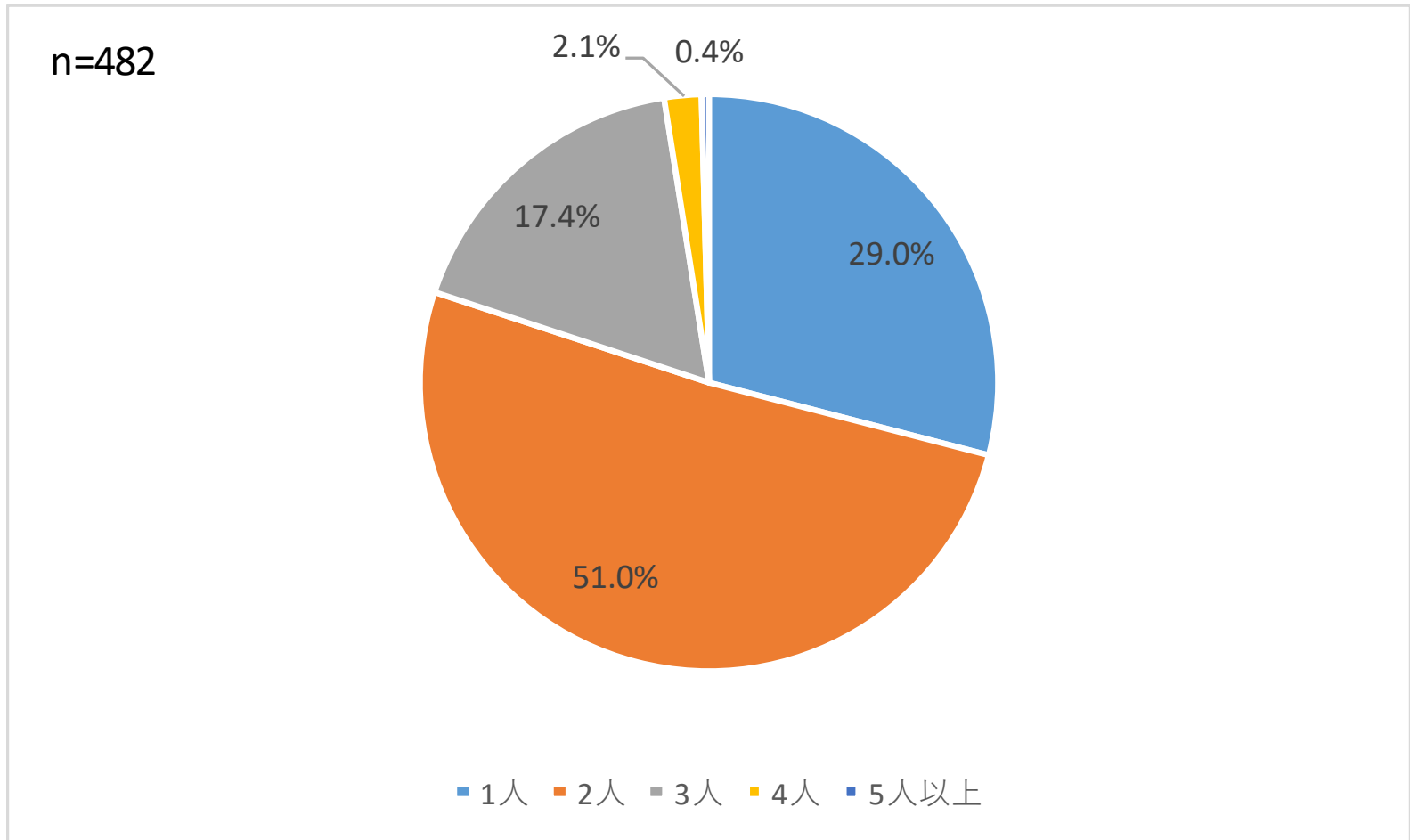
1. 回答者属性④：居住地区

■ 菅谷地区が5割超



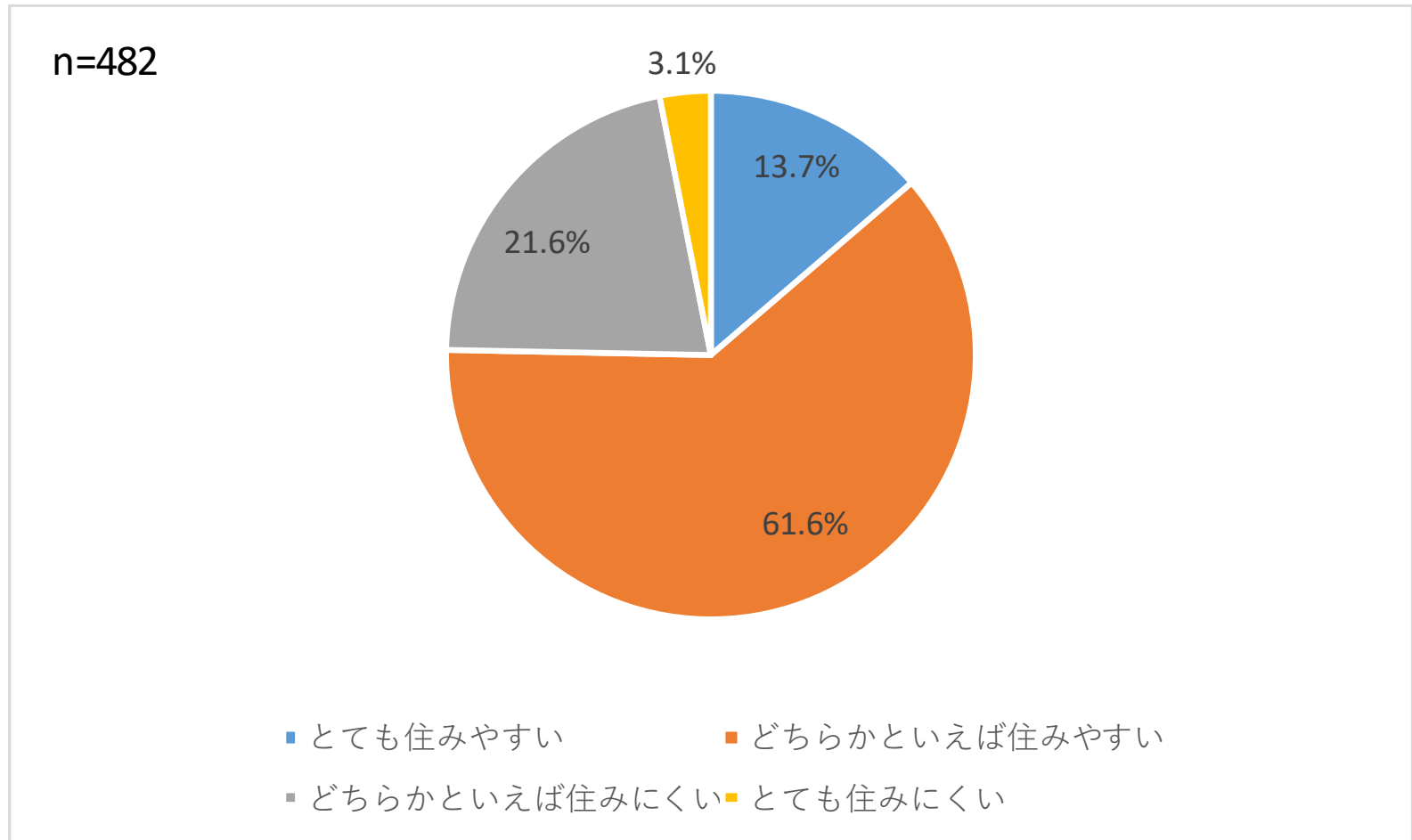
1. 回答者属性⑤：子どもの数

- 2人が約5割、1人が約3割



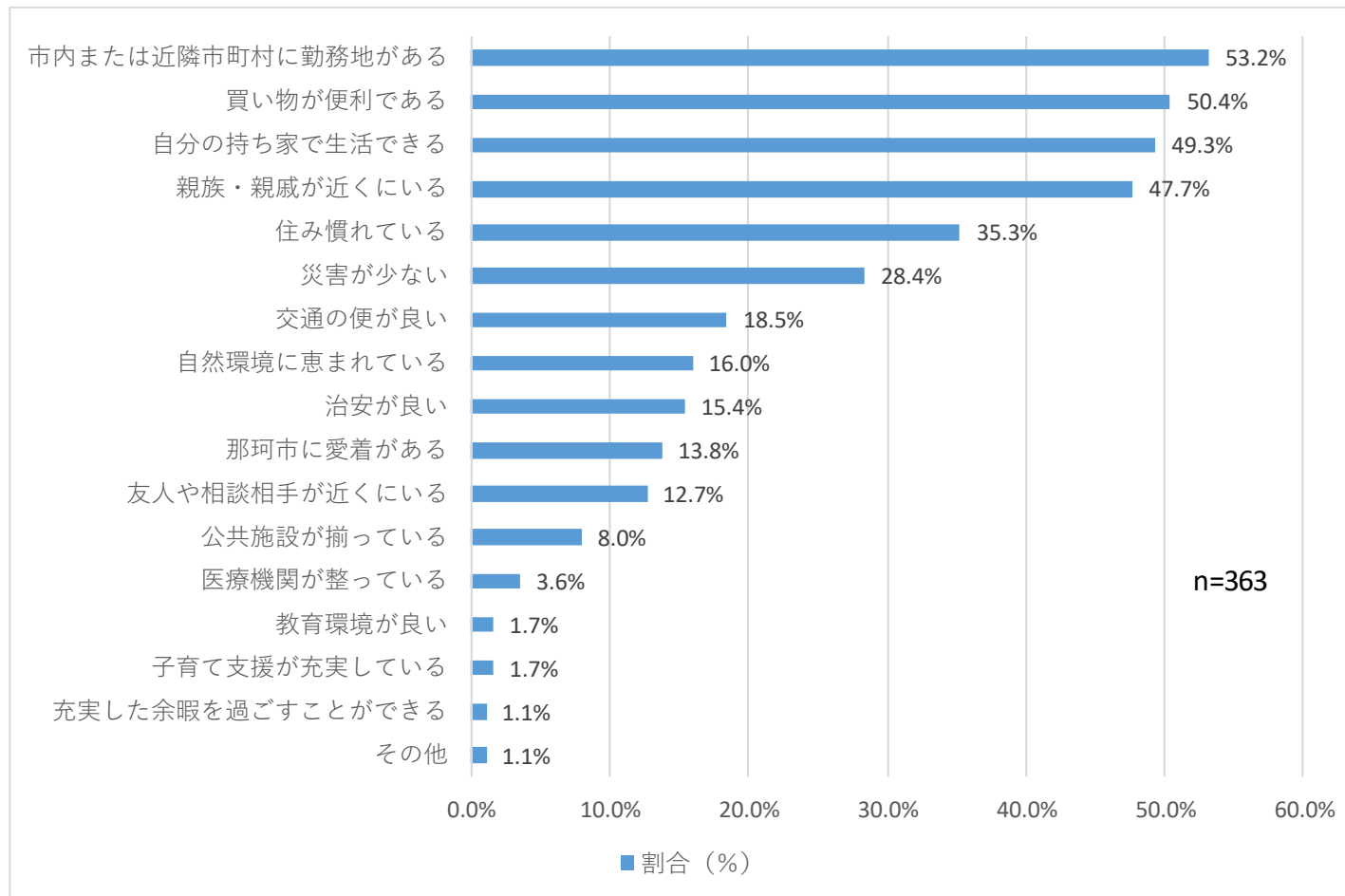
2. 那珂市の住みやすさ

- 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計：75.3%



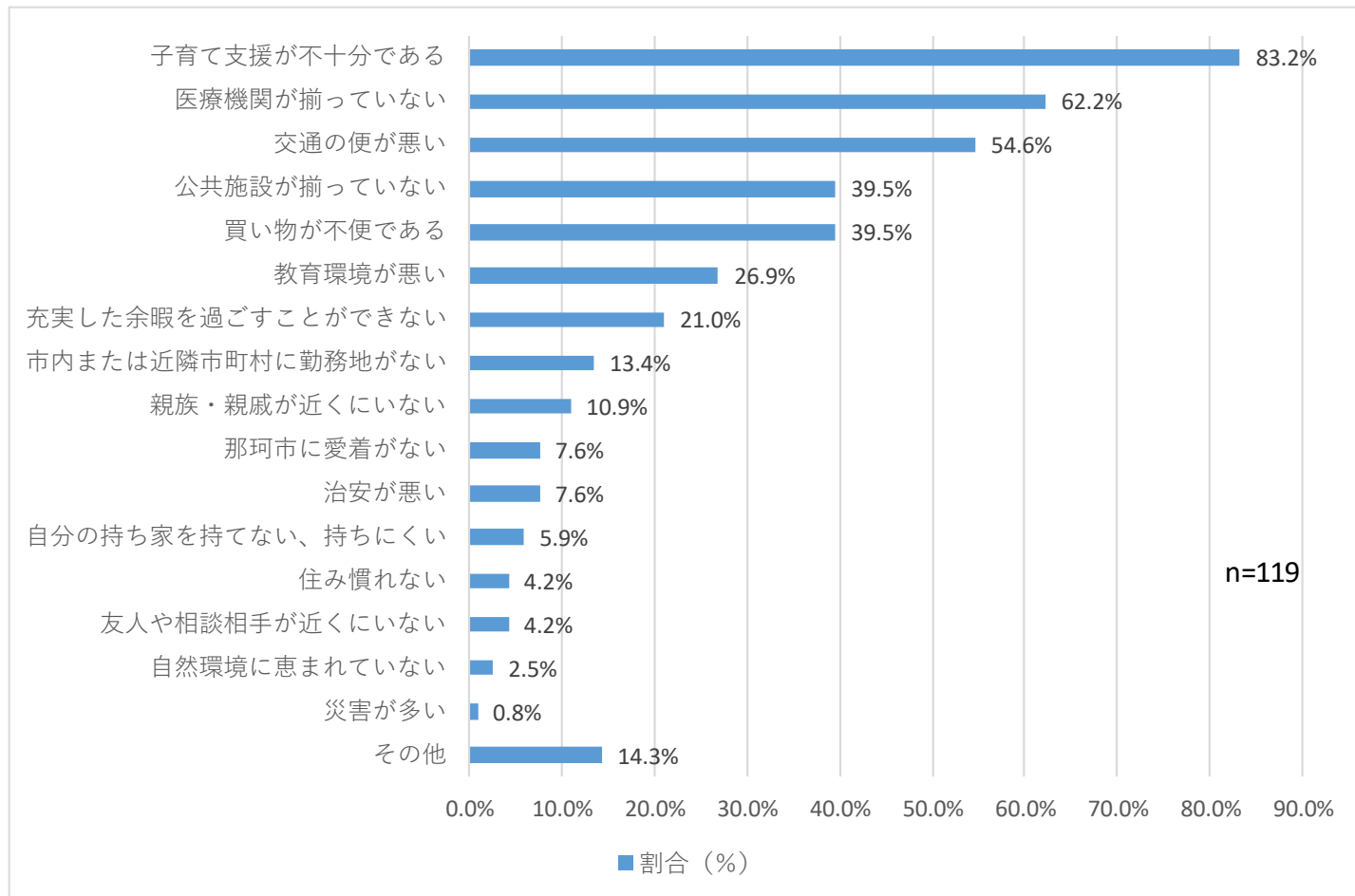
2. 住みやすい理由（最大5つ）

- 「市内または近隣市町村に勤務地がある」、「買い物が便利である」、「自分の持ち家で生活できる」、「親族・親戚が近くにいる」が上位



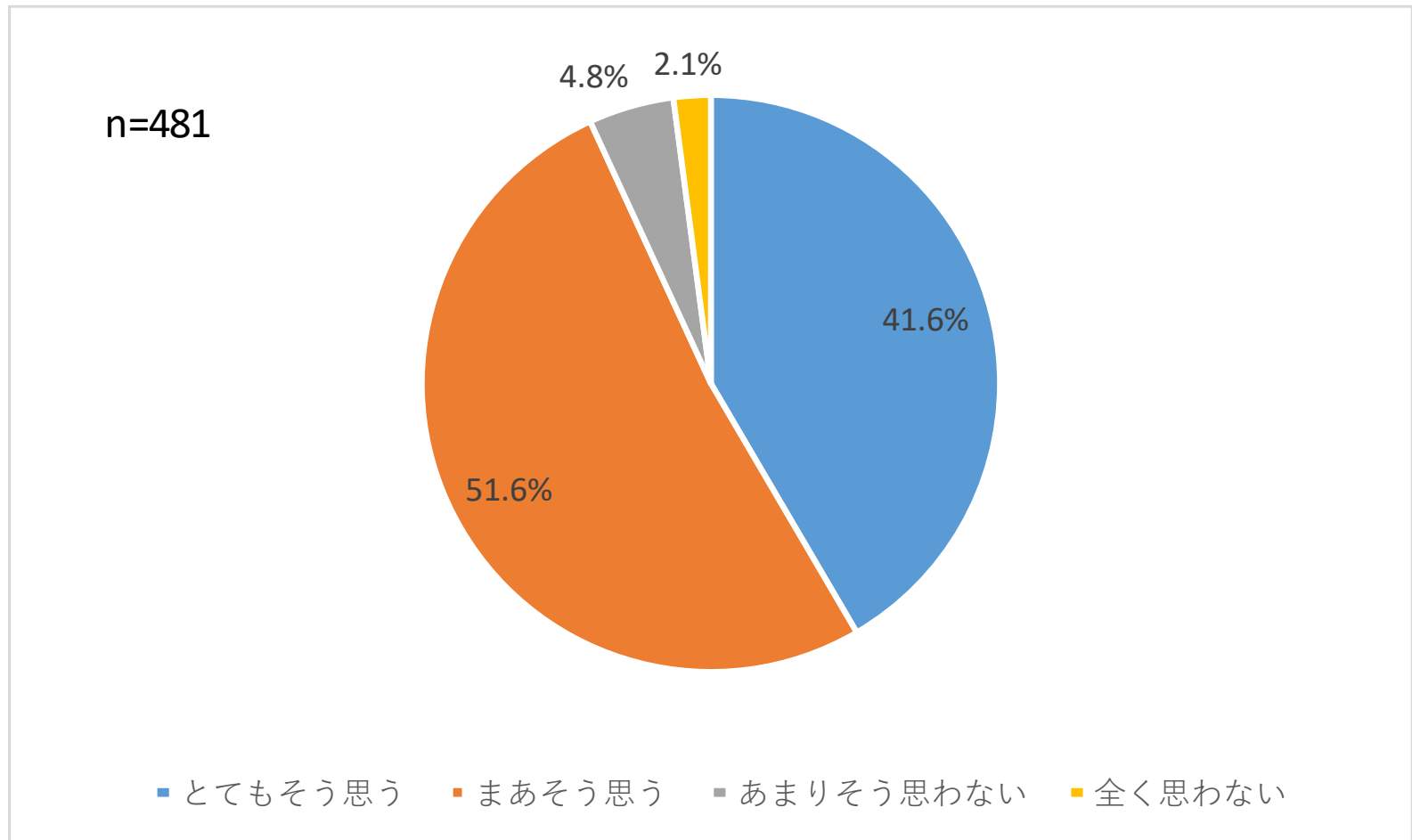
3. 住みにくい理由（最大5つ）

- 「子育て支援が不十分である」、「医療機関が揃っていない」、「交通の便が悪い」が上位



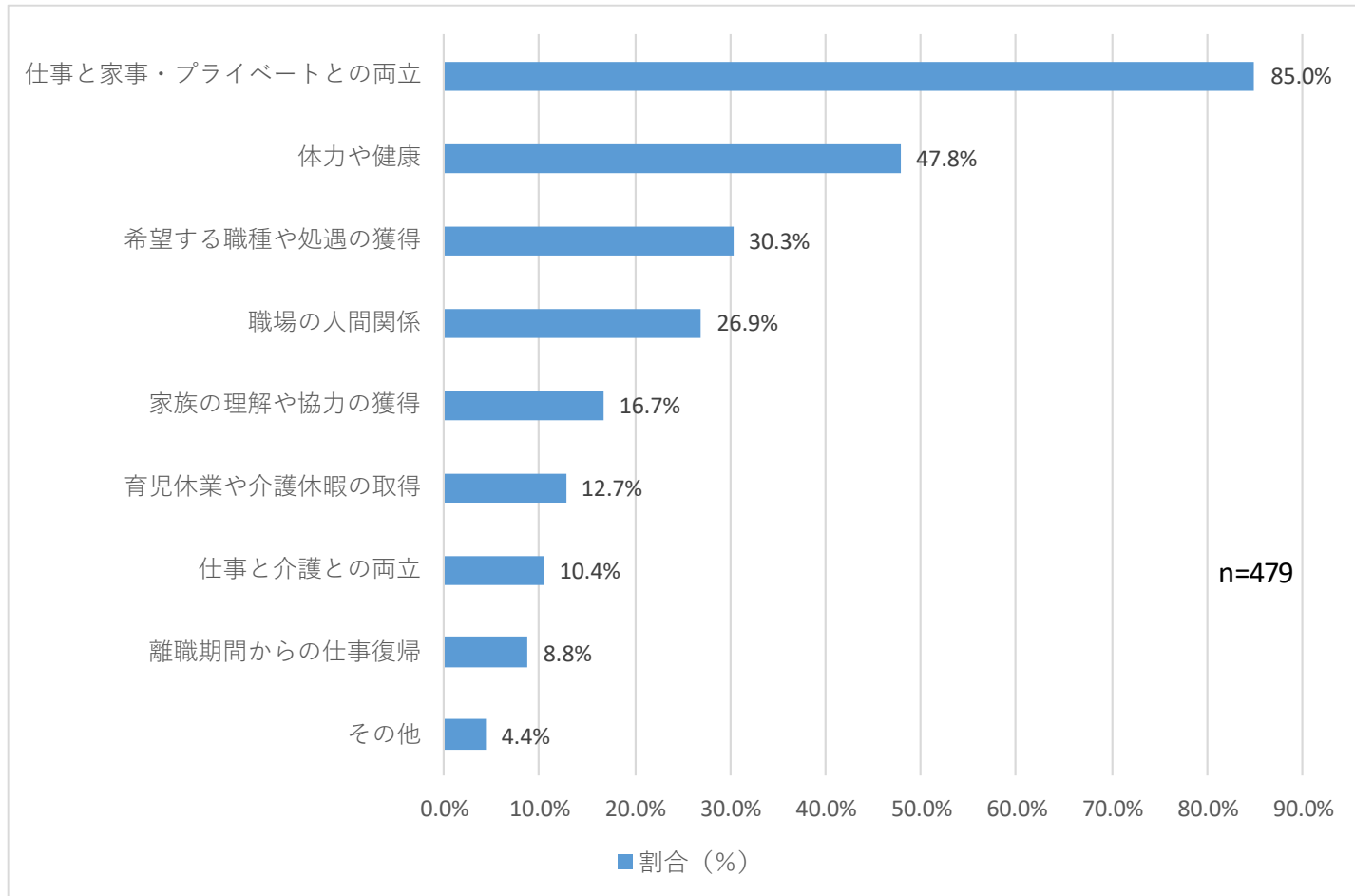
4. 今後の働く意向

- 「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計割合は9割超



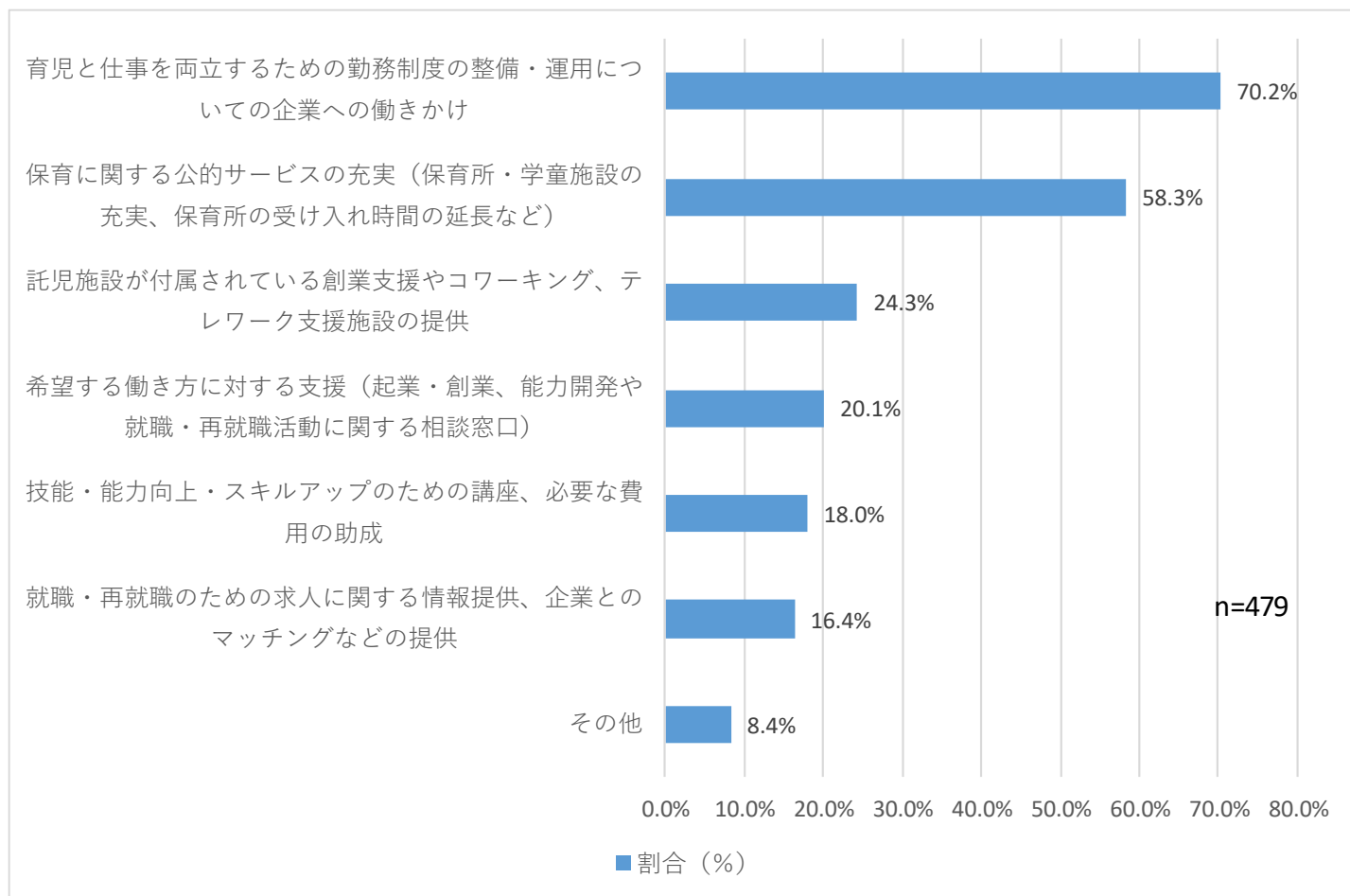
5. 働く上での不安や悩み（最大3つ）

- 「仕事と家事・プライベートとの両立」が8割超、「体力と健康」が約4割後半



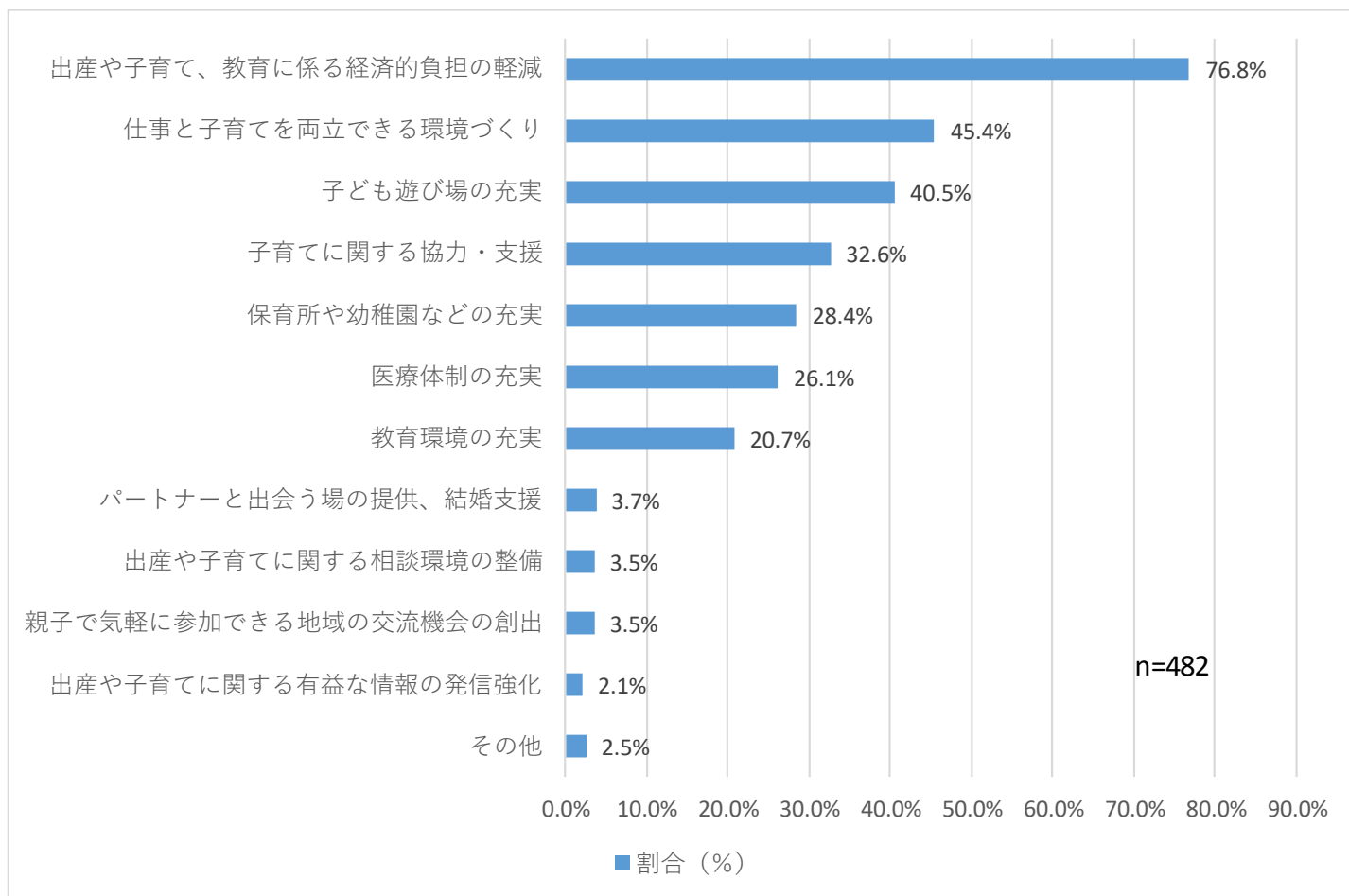
6. 子育てしながら働きやすくなるために行政に期待すること（最大3つ）

- 「育児と仕事との両立に関する企業への働きかけ」が約7割と最多
次いで、「保育に関連する公的サービスの充実」が約6割



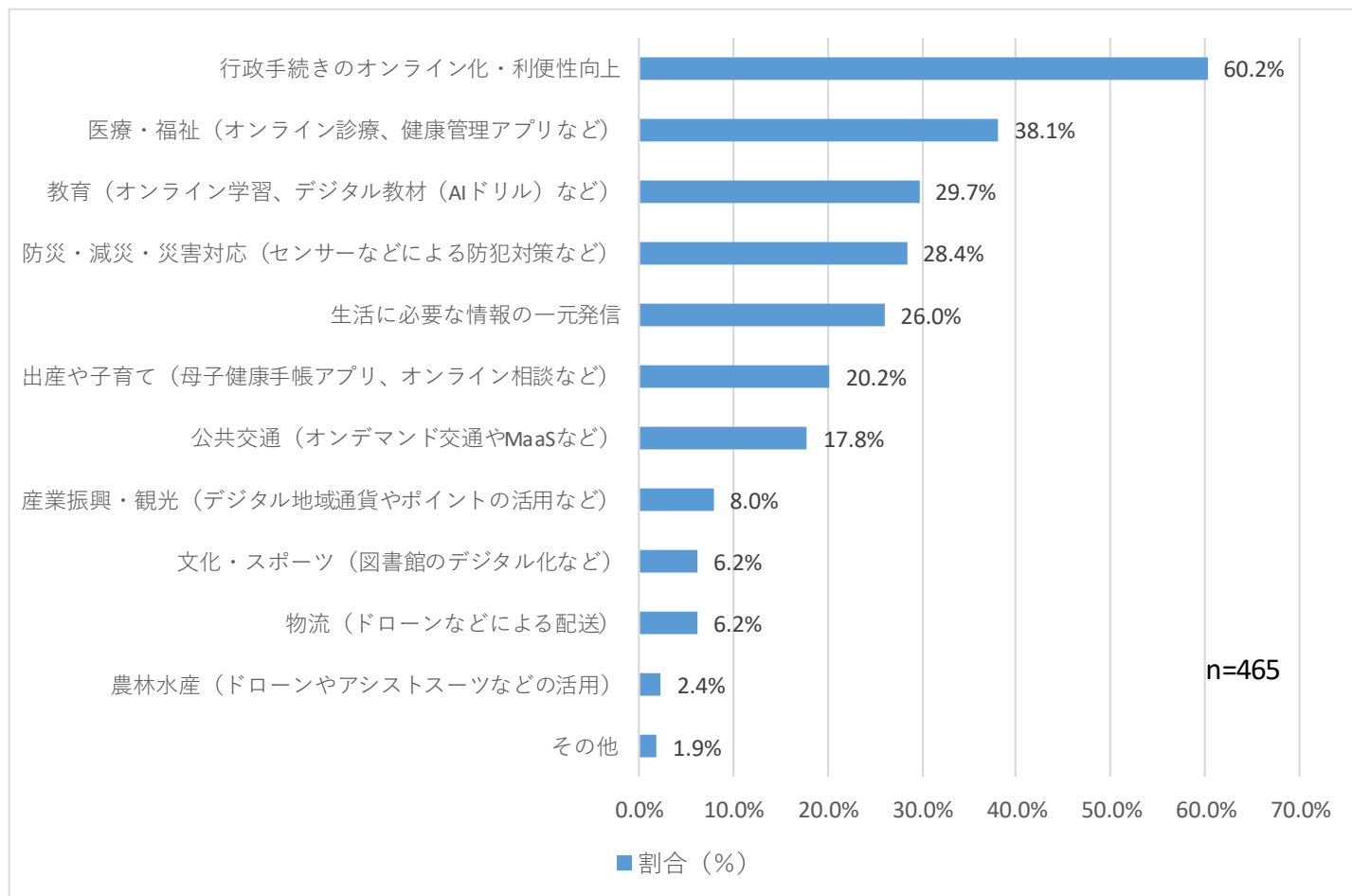
7. 結婚し、子どもを産み、育てやすい環境のために必要なこと（最大3つ）

■ 「出産、子育て、教育に係る経済的負担の軽減」が約7割超と最多



8. デジタル化で良くなることを期待する行政サービス（最大3つ）

■ 「行政手続きのオンライン化・利便性向上」が約6割と最多



9. 自由回答分析

(1) 全体

- 新興住宅地においては、子どもの遊び場が足りないとの声
- 小児科が少ない現状への不安の声
- 共働き世帯への支援を求める声
- 生活道路において、歩道が狭いあるいは無いため、歩行者にとっての危険性を指摘

(2) 年代別

1) これから、あるいは初めての育児にあたる世代

- デジタル活用した夫婦向けの育児情報の発信、物品支援

2) 30代

- 働きながら育児をするためのインフラに対する不安の声

3) 40代

- 子どもが成長しているため、教育内容や地域の持続可能性に関する声

9. 自由回答分析

(3) その他

1) インフラ

- 子どもが遊べる場所の不足
- 道の狭さ、水戸方面への渋滞

2) 地域の持続可能性

- 調整区域において通学班やコミュニティが維持できない
- 商業施設の不足や交通の便の悪さにより、日常的に市外に買い物など行っている
- 自治会の高齢化
- 土地利用規制の緩和による若い世代の導入